

令和5年度事業計画

1 基本方針

我が国では、急速に進む少子高齢化や人口減少に対応するため、高年齢者雇用安定法の改正が行われ、定年延長や雇用継続制度の導入が進められるなど、高年齢者を取り巻く就業環境は大きく変化しており、シルバー会員の入会者の減少と更なる高齢化が危惧される状況となっております。

また、新型コロナ禍の長期化により、雇用情勢をはじめ社会経済活動は大きな打撃を受け、シルバー人材センターの事業においても契約額の落ち込みとともに会員数の減少傾向が続いております。

本年5月からは、新型コロナの感染症法上の位置づけが「2類相当」から「5類」に変更され、コロナと共存しながら社会経済の活性化が図られる方向に移行したことで、ようやくコロナ禍からの出口が見えかけた感もありますが、引き続き状況を注視していく必要があります。

こうした状況の中、岡山県シルバー人材センター連合会の第三次中期活動計画が策定され、「会員拡大」と「安全就業」を柱に各センターにおける令和5年度から5年間のシルバー事業の推進方策が示されました。

新見市では、持続可能な地域社会の実現を目指した取り組みが進められており、多様化する住民ニーズに対応するため、行政だけでなく、様々な主体によるまちづくりが求められる中、シルバー人材センターの役割は一層重要となっております。

新見市シルバー人材センターは、こうした諸情勢を踏まえたうえで、「自主・自立・共働・共助」の基本理念に基づき、地域の皆様に信頼される「魅力あるシルバー人材センター」づくりに、より一層努力し、市民ニーズに迅速に対応できる体制を整えて、安全で安心な暮らしやすいまちづくりに貢献して参ります。

また、事業推進にあたっては、行政をはじめ関係機関等と連携し、新型コロナウイルス感染防止対策に配慮しながら、法人関係者が一体となってセンター機能の充実と安定した運営に引き続き積極的に取り組んで参ります。

2 事業計画

(1) 就業機会の拡大

- ① 就業の基本である「皆で開拓、皆で就業」を合言葉に、会員一人ひとりが発注者の満足度を高め、信頼関係を築けるよう、会員総参画による就業開拓を推進します。
- ② 就業開拓推進員による一般家庭、民間企業及び関係団体等の訪問を実施し、就業ニーズの把握・分析等を行い、会員の意欲と能力に応じた就業機会の開拓に努めます。

(2) 会員の拡大

- ① シルバー事業の活性化には、会員の拡大が必要不可欠であり、組織を挙げて魅力あるセンターづくりを進めるとともに、新規会員の開拓に努めます。
- ② 事業（入会）説明会を計画的に実施し、各世代のニーズに応じた就業形態、就業機会の創出等をアピールする中で、働く意欲のある会員の拡大に取り組みます。

(3) 安全・適正就業の推進

- ① 安全・適正委員による就業現場への巡回パトロールを引き続き毎月実施し、安全保護具の着用等、「安全はすべてに優先する」を徹底するよう、安全就業の指導を行います。
- ② 公正・公平な就業は事業運営の基本をなすものであり、長期就業の見直しや就業の交替、分かち合いによる就業機会の見直し、発注者へのアンケート調査による就業の調整等を行い就業の適正化を図ります。

(4) 労働者派遣事業の推進

会員の多様な働き方の選択肢と就業機会を拡大するため、「請負・委任」では受注できない就業については労働者派遣事業として取り組むとともに、官公庁や企業等に対して積極的に働きかけ、新たな職種の就業開拓に取り組みます。

(5) 有料職業紹介事業の推進

臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る仕事の求人を受け、これらを希望する高年齢者へ紹介します。

(6) 組織活動の活性化

- ① 職群班を充実することにより、班員の親交・連帯意識の高揚と班同士での仕事の調整等、現場の声をすみやかに運営に生かす体制を築き、自主・自立、共働・共助による組織化を進めます。
- ② 女性会員が参加しやすい就業分野の開拓や、女性会員の入会を促す魅力ある講習会の開催等について、女性部会を中心に女性ならではの視点で積極的な意見交換を行いながら、男女共同参画の明るく活動しやすいセンターづくりに取り組みます。

(7) 普及啓発活動の推進

シルバー人材センター事業への理解と信頼が得られるよう、一般市民や事業所、官公庁に対し啓発用リーフレット等の配布、ホームページ、マスコミ（新聞・ケーブルテレビ）、イベント等を通じた PR 活動に積極的に取り組みます。

(8) 社会参加活動の推進

ボランティア活動として、多くの市民が憩う公共公園等の樹木の剪定、草刈り、草取り、清掃等の作業を実施します。また、各地域の清掃活動等へそれぞれ積極的に参加していきます。

(9) 研修会・講習会の開催

発注者からの多様な就業依頼に対応するため、県連合会等と連携した講習会を実施するとともに、デジタル技術の活用なども視野に入れながら、会員及び市民に魅力ある独自の講習会を計画していきます。

また、全シ協、県連合会の研修会等についても積極的に参加し、会員や職員の知識・技能の向上を図ります。